

News release :

2021. 12. 10

【冬季限定】びわ湖縦走 雪見船クルーズ

琵琶湖汽船株式会社

〒520-0047 滋賀県大津市浜大津 5-1-1
TEL. 077-522-4115 / FAX. 077-524-7896
[http:// www.biwakokisen.co.jp/](http://www.biwakokisen.co.jp/)

船舶営業部 船舶企画課

～ 冬のびわ湖を楽しむ船旅へ ～

びわ湖縦走 雪見船クルーズ

運航期間：2022年1月29日（土）～2月28日（月）の土・日・月・祝日



琵琶湖汽船株式会社（本社：滋賀県大津市浜大津、社長：川添 智史）とびわ湖雪見船協議会（会長：佐藤 祐子）は、冬季限定の企画クルーズ「雪見船クルーズ」を2022年1月29日（土）より運航します。

雪見船クルーズは、冬のびわ湖を南北に縦走する唯一のコースで、大津港と長浜港を約2時間半で結びます。往路では大津港を10時に出港し、冠雪した比良山系の雄大な風景や湖面をはばたく水鳥など、びわ湖の美しい冬景色をご覧いただきながら、12時20分頃に長浜港へ到着します。

長浜港からは、歴史と規模で日本一とも言われる「長浜盆梅展」や北国街道沿いに続く古い町並みの一角にガラスショップやレストラン、カフェなどのお店が点在する「黒壁スクエア」へ徒歩で訪れることができます。雪見船（片道）と長浜観光を組み合わせた滋賀旅もおすすです。

復路では、長浜港を14時に出港し、16時50分頃に大津港へ到着。往路・復路ともに事前予約がある場合には、におの浜観光港やおごと温泉港へも寄港します。ご宿泊地や浜大津（三井寺）、坂本（西教寺・日吉大社）などの周辺観光に便利な港をお選びいただけますので、「雪見船」を旅行プランに組み入れてみてはいかがでしょうか。

雪見船クルーズの詳細は次頁のとおりです。

「雪見船クルーズ」概要

企画名	びわ湖縦走 雪見船クルーズ		
企画実施	びわ湖雪見船協議会、琵琶湖汽船株式会社		
協力	びわ湖大津志賀観光振興協議会、(公社)長浜観光協会		
期間	2022年1月29日(土)～2022年2月28日(月)の土・日・月・祝日に運航 ※最少催行人員15名		
就航船(予定)	 		
	高速船「リオグランデ」 旅客定員200名	高速船「メグミ」 旅客定員200名	
行程	【往路】 (9:45) におの浜観光港発 ↓ 10:00 大津港発 ↓ (10:30) おごと温泉港発 ↓ 12:20 長浜港着	【復路】 14:00 長浜港発 ↓ (16:10) おごと温泉港着 ↓ (16:35) におの浜観光港着 ↓ 16:50 大津港着	【航路イメージ】 
料金	【片道】 大人3,500円 小人1,750円(税込) 【往復】 大人5,000円 小人2,500円(税込)		
ご予約 お問い合わせ	琵琶湖汽船(株) 予約センター TEL 077-524-5000 (9:00-17:00) またはWEB予約 https://www.biwakokisen.co.jp/season_event/115/		
アクセス	大津港：京阪電車「びわ湖浜大津」駅より徒歩約3分 JR琵琶湖線「大津」駅より徒歩約15分 長浜港：JR北陸線「長浜」駅より徒歩約10分		
備考	※天候やその他の状況により運航内容の変更や欠航となる場合がございます。 ※船内ではマスクの着用、乗船前の検温、消毒、ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。また大声での会話、お弁当やアルコール類の持ち込みはご遠慮ください。 ※船内は全て禁煙です。 ※都合により、リオグランデ・メグミ以外の船が運航する場合があります。		

※画像は全てイメージです
以上

《 本件についてのお問い合わせ先 》

琵琶湖汽船株式会社 船舶営業部 船舶企画課
担当 森、高橋

kyo.mori@biwakokisen.co.jp
滋賀県大津市浜大津 5-1-1
TEL 077-522-4115 FAX 077-524-7896
<https://www.biwakokisen.co.jp>

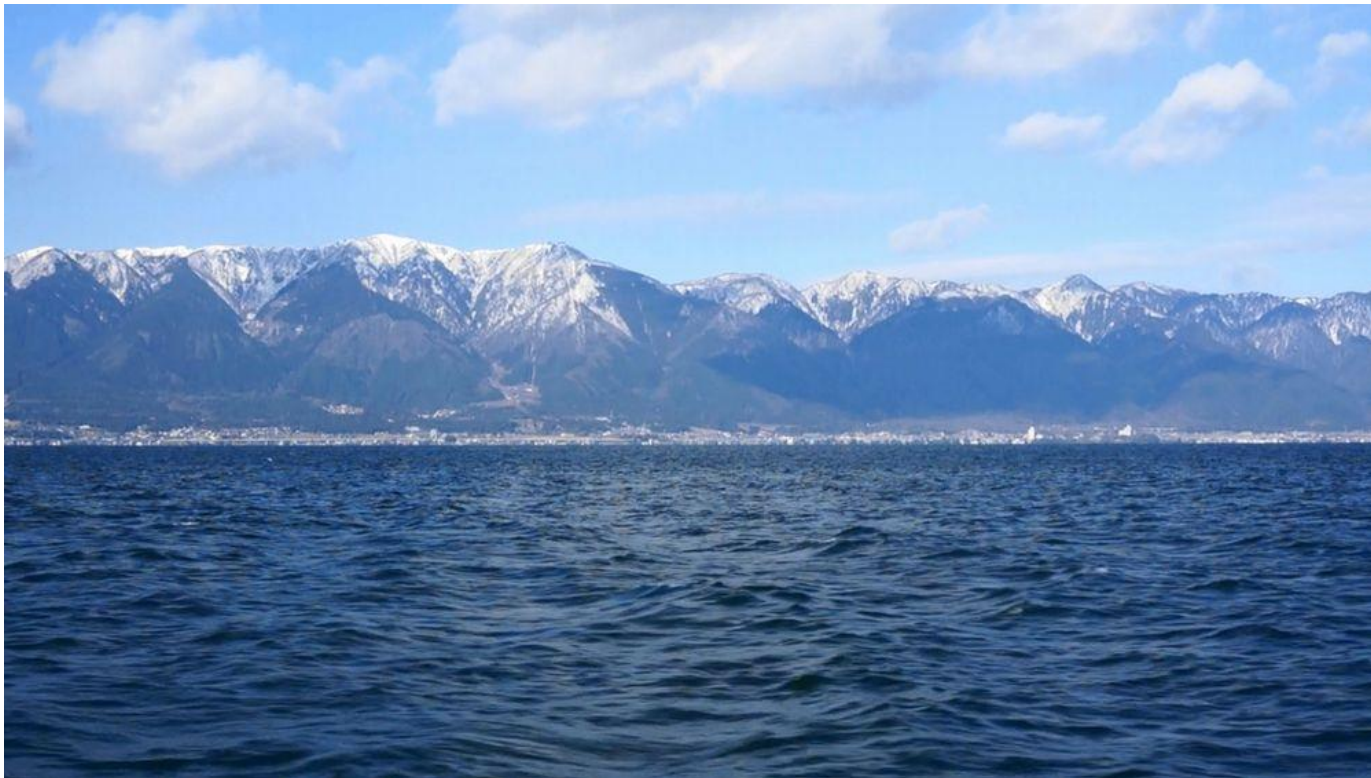

 琵琶湖汽船

【別紙】

「雪見船クルーズ」おすすめポイント

びわ湖の美しい冬景色を満喫！

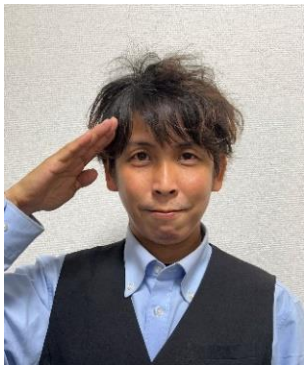
標高 1000m級の山々が南北 12kmに連なる比良山系や滋賀県最高峰の伊吹山、湖面はばたく水鳥など、心癒される美しい景色に出会うことができます。また、浮御堂や沖の白石などの名所地も航路上からご覧いただけます。※気象状況により航路変更する場合があります。



観光ガイドが見える景色をご紹介します！

楽しい語り口調で船窓から見える景色や観光情報などをご案内します。船旅がさらに思い出深いものになります。

※観光ガイドは、日により異なる場合があります。



観光ガイド アッキー

片道利用+長浜観光がおすすめ！

秀吉が初めて城持ち大名となって開いた城下町「長浜」。古い町並みを活かした旧市街地エリアは人気観光スポットとなっています。

また、規模・歴史ともに“日本一の盆梅展”として名高い「長浜盆梅展」会場も長浜港から徒歩約5分の場所にあり、大津から長浜へ、雪見船を交通手段に利用することができます。



盆梅画像提供：(公社)長浜観光協会

Where to call